C19 大分県におけるメマトイ類3種の *Thelazia* 幼虫自然感染

○青木千春¹, 大塚靖¹, 高岡宏行¹, 林利彦² (¹大分医科大学・医学部・感染分子病態制御講座, ²国立感染症研究所・昆虫医科学部)

Natural infections of three *Amiota* species with larvae of *Thelazia* in Oita

Aoki, C., Otsuka, Y., Takaoka, H., Hayashi, T.

1997年と2000年から約3年間, 大分県下の11ヶ所において人囃法により合計2224個体のメマトイ類を採集した。採集数はカップメマトイ806個体(36.2%), マダラメマトイ669個体(30.1%), ツバメメマトイ427個体(19.2%), オオマダラメマトイ280個体(12.6%), クロメマトイ42個体(1.9%)であり, 4月から10月に採集され, 8月に最も多かった。優先種は採集地点や採集時期により異なった。採集したメマトイのうち877個体を解剖し, 5地点で*Thelazia*類幼虫を検出した。カップメマトイ, オオマダラメマトイ, マダラメマトイから*Thelazia*類の第1, 2, 3期幼虫が検出された。感染率はそれぞれ, 3.8%, 3.2%, 2.3%であった。また, 大分県下の人体感染症例より得た東洋眼虫 *Thelazia callipaeda* 成虫と, カップメマトイから見出した第3期幼虫のDNAを抽出し, ITS1領域を比較した結果, 両者の配列は一致した。メマトイから検出した*Thelazia*幼虫は, *T. callipaeda*幼虫と考えられる。

C20 タイ国チェンマイ州において人囃で採集されたブユ種およびフィラリア幼虫の自然感染

○福田昌子¹, Choochote, W.², 青木千春¹, 高岡宏行¹ (¹大分医科大学・医学部・感染分子病態制御, ²チェンマイ大学・医学部・寄生虫学)

Black-fly species attracted to humans and their natural filarial infections in Chiang Mai, Thailand

Fukuda, M., Choochote, W., Aoki, C., Takaoka, H.

タイ国チェンマイ州の標高の異なる3地点で, 2001年11月または12月に, 人囃法でブユ成虫を朝6時から午後6時まで捕集した結果, 以下のように標高別に種構成と優先種が異なっていることが分かった。Doi SaketのBan Pang Fan (標高250m) では, *Simulium nodosum* 31, *S. asakoe* 20, *S. nigrogilvum* 20, *S. nakhonense* 6, *S. fenestratum* 4, *S. chamlongi* 1, *S. sp. E 1*の合計7種83個体; Doi Inthanon国立公園中のTambol Ban Laung (標高750m) では, *S. asakoe* 557, *S. nigrogilvum* 144, *S. nakhonense* 97, *S. chamlongi* 18, *S. fenestratum* 2, *S. nodosum* 2, *S. chumpornense* 1, *S. siamense* 1, *S. sp. E 1*の合計9種823個体; Doi Inthanon頂上付近 (標高2,465m) では, *S. rufibasis* 62, *S. sp. D 4*の合計2種66個体が採集された。また, Tambol Ban Laungで採集した*S. asakoe* と*S. nigrogilvum* を解剖した結果, フィラリア幼虫の自然感染 (感染率0.21%および0.72%) がみられた。